

# 2017年4月1日～2019年8月31日の間に 当科において前立腺全摘後の腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を受けられた方へ

—「前立腺全摘後の腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の検討」へのご協力のお願—

研究責任者	川崎医科大学総合外科学	特任教授	浦上 淳
研究分担者	川崎医科大学総合外科学	講師	高岡 宗徳
	川崎医科大学総合外科学	講師	石田 尚正
	川崎医科大学総合外科学	臨床助教	松原 正樹

## 1. 研究の概要

前立腺全摘術後、高い頻度で鼠径ヘルニアを発症します。その場合、鼠径ヘルニアに対する修復手術は、前方アプローチか、腹腔鏡か議論のあるところですが、当科で行った前立腺全摘後の腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を後方視的に検証し、標準的治療としての妥当性を検討します。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2017年4月1日～2019年8月31日の間に川崎医科大学総合医療センターにおいて前立腺全摘後の腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を受けられた方12名を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2021年3月31日

### 3) 研究方法

当科で前立腺全摘後の腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を受けられた方の診療録から年齢、性別、BMI、術式、手術時間、出血量、在院日数、WBC、CRP、合併症、使用したメッシュ、前立腺癌の進行度を検討します。手術動画から手術手技を検討します。後方視的に検証し、標準的治療としての妥当性を明らかにします。

### 4) 使用する情報の種類

年齢、性別、BMI、術式、手術時間、出血量、在院日数、WBC、CRP、合併症、使用したメッシュ、前立腺癌の進行度

### 5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合外科学で電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存させていただきます。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、（2020年12月31日）下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 外科

氏名：浦上 淳

電話：086-225-2111 内線 48036（平日：8時30分～17時00分）

FAX：086-224-6821

E-mail: aarakami@med.kawasaki-m.ac.jp

## 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。